



学校運営協議会の更なる活性化をめざして

学校、家庭、地域住民の連携・協働により、子どもの豊かな学びや育ちを実現していく地域連携教育において、学校運営協議会は、その中核となる重要な役割を担っています。限られた時間の中で行われる協議会をより一層充実させるためのポイントについてCSハンドブック（山口県教育委員会）を参考にいくつか紹介します。

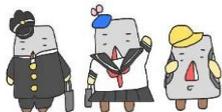
学校運営協議会を充実させるためのポイント

- 年間の学校運営協議会開催の見通しをもち、各回においてどのような協議題を設定し、どのような資料を提示するかを計画しておく。
(⇒出席する委員も見通しをもつことができ、積極的な参加につながる。)
- 協議会が終始、学校からの一方的な説明にならないよう、説明事項を精選し、配付資料を充実させることで、協議のための時間を確保する。
(⇒委員の発言機会が増え、より多様な意見を聞くことができる。)
- 学校課題（学力向上、体力向上、望ましい学習規律、生活習慣など）について協議する場合、成果や課題の根拠となるデータを示す。
(⇒協議が焦点化され、課題解決につながる意見が出やすくなる。)
- 協議題をあらかじめ委員に示し、意見をもって臨んでいただくようにする。
(⇒多くの様々な意見が出やすくなる。)
- 学校が抱えている課題を協議会の中で素直にお伝えし、学校としての困り感を委員と共有する姿勢を示す。
(⇒全体に当事者意識が生まれ、学校運営の解決につながるような貴重な意見を引き出すことができる。)
- 熟議を行う時は、「何のために?」「何をめざして?」「どのようにして?」を意識して計画する。
(⇒参加者が目標やビジョンを共有し、課題解決に向けたアイデアや考えが提案しやすくなる。)
- 協議を行った内容について、その後コミュニティ・スクールとしてどのような取組を行ったか、その結果、どのような成果や変容が見られたのかを、次回以降の協議会の場で報告する。
(⇒協議を行うことの有用感を参加者が感じることができ、事後の協議の活性化につなげることができる。)

令和6年度 第2回宇部市地域学校協働活動研修会のお知らせ

1. 日時 令和6年11月18日(月) 18時00分～20時00分
2. 会場 ときわ湖水ホール 大展示ホール
3. 内容

来てね!



○講話(1)「社会教育推進委員会の役割について」

上宇部地区社会教育推進委員会 会長 山本 毅文 様
上宇部地区地域学校協働活動推進員 熊毛 千恵 様

○講話(2)「持続可能な地域学校協働活動への挑戦！」

～『我が家の簡単☆朝食コンテスト』の取組を通して～
厚南小学校運営協議会 会長 厚東 庸介 様
厚南地区地域学校協働活動推進員 川崎 裕美 様
宇部市立厚南小学校 校長 藤中 俊臣 様

○情報交換・協議 テーマ

「持続可能な地域学校協働活動にしていくにはどのように取り組んだらよいか」